

# やまろこ

2012年  
水文化編

## 山内の水文化を発信 創作狂言第二弾 “水争い”

一見、なにも無い地域だからこそ見つけ出した里山文化、山内エコクラブは、4年前から昔から語りつがれてきた水に関することをテーマにしてきました。なぜなら、里山には、命の水であったからです。

そして、里山だけではありませんでした。3.11の震災の時に全てのライフラインが止まったとき、改めて水のありがたさに、日本国民が気付くことができました。他人事でなく自分の事と置き換え、忘れかけている自然からの恵み、“当たり前でない”水の重みと水を分け合い助け合い、人と人との繋がりを伝えていかなければならないのです。それには、昔の知恵や、思い、祈り等の先人が抱いた心も受け継がなければなりません。

今回の狂言は、水争いです。命の水を自分の田に確保するかが、暮らしに大きく関わった時代、そこには争いもありました。面白おかしく山内風にアレンジして8月から練習してきました。

あらすじ：日照り続きの夏、上の村と下の村の人たちが自分の田にうまく山から流れてくる水が行きわたっているかを確認にきています。「えっ、田に水が少しもない、あれほど昨日ためて置いたのに・・・あれは下の村の者が盗んだに違いない」と、鍬と鋤で、水口(みずくち)を操作し、互いをだましあいます。それが、エスカレートし・・・

監修・指導・創作

大蔵流狂言師(茂山一門)

網谷正美氏



山内エコクラブは、里山狂言を通じて、野洲川源流の水と文化の豊かさを多くの人に伝え、私たちの自然に対する姿勢について考える機会にしていきたいと思っています



**山内エコクラブの理念** 活動を通して、地域の良さを見つけ、広めたい。活動を通して、人と自然、人と人、地域と人、子どもと大人、都市と農民のつながり 誇りを持って地域の良さを伝えたい 活動を通して、広い視野とやればできるという自信を持って自分達が高まって生きたい そして凛として輝いていた 山内は私たちが育ててくれるふるさとだから

狂言の練習はみんな好き

コマーシャル

## 第4回 山内・春のふれあいコンサート

日時：平成 25 年 3 月 9 日(土曜日) 13 時半から 16 時

場所：ダイヤモンド滋賀ホテル 料金：500 円

内容：エコクラブ活動発表 創作狂言  
フルーツとチェンパロの春のコンサート  
ふらんしーずによるハンドベル  
バザーなど



## 山内エコクラブ 水文化についての活動概要

目的： 高齢者が30%を超える中山間地である山内では、若者流出による過疎化が進んでおり、山内に住む者が「山内は何もないところ」という意識をもつものが多い課題の中、地域資源(人・自然・文化)の活用不足地域にある資源を最大限に活用し、地域に愛着を持ち、持続的発展の可能性を創造する地域を目指しています。

当クラブの活動目標として『夢と生きがいを持てる地域づくり』を挙げています。

- 1、地域全体が、自分達の地域の良さと水文化の深さに気付き、故郷に対する愛着を高めよう。
- 2、『水』と『暮らし』の関わりを調べ、『水』と触れ合う機会を作り、今と昔の自分達の暮らしを比較し考える機会を作ることによって、「水」を始めとする限りある資源について考え、生活を見直すきっかけとしよう。
- 3、子どもと高齢者の交流により、子ども達の社会力の育成・高齢者に対する尊敬する気持ちを育てよう。
- 4、高齢者は、昔の暮らしを思い出し伝えるという役割と生きがい探し、心豊かであった昔の時代を思い出すことで、良い刺激にしましょう。
- 5、調べたことをまとめ、媒体を作る過程で、仲間同士の連帯感、創造性、表現力、発表力をつけましょう。
- 6、遠い地での震災を他人事にせず、「もしライフラインが止まったら」の想定をして、昔の知恵を生かす工夫を模索しましょう。

内容： 山内の水が暮らしにどのように関わって来ているか、地域の高齢者に聞き取り、昔の人の思いを、現在の暮らしに活かすにはどのようにしたらいいか考えています。

**【調べる】** 子ども達が「お正月にお鏡を供える場所」のお鏡調査を100件にし、昔から伝わる水への祈りを知りました。井戸に供えて水が絶えないように祈ったこと、水の神さんや田の神さんがいること、取り水や川に供えた。

山内地域に伝わる無形文化財である「花笠太鼓祭り」の行いは、雨乞い祭りでありことを調べ、祭にも参加しています。

野洲川の上流から下流にかけて現地調査をし、水と暮らし「農業」「工業」「生活」との関わりを知りました。

昔の川での遊び、川にいた生き物、水に関わる民話を高齢者から聞き取ります。(地域外の子どもも一緒に)

龍神伝説、山中他界観などを高齢者から聞きルーツを大人も検証します。

命の田んぼの水争いを、本格狂言にしました。

### **【ツールを作る】**

飛び出すジャンボ絵本作成 『鈴鹿物語 ~水を伝える山内の龍王』100cm×70cm大の飛び出す絵本作成をしました。(龍神現る~)

創作狂言「鈴鹿の子天狗」「水争い」

地域に伝わる水文化と自然の美しさ、水との暮らしの中での争いを題材に子どもが狂言で演じました。

創作劇「水は天からの授かりもの」

今の暮らしに水が無くなったら?という想定で現代劇を創作、表現しました。大人も出演しました。

### **【発信】**

全国いい川いい川づくりワークショップ出場

第二回全国いい川いい川づくりワークショップで準グランプリ受賞

水郷水都全国大会2010出場

近畿子ども水辺交流会4年連続参加

淡海子どもエコクラブ交流会にて 2009・2011 ともグランプリ(知事賞)受賞

淡海の川づくりワークショップ 2009 グランプリ受賞

沖縄県糸満市との交流(2回の遠征) 2009 報得川 森と海の学校に招待を受ける

2012 糸満米須村まるごと生活博物館参加

2012 山内村まるごと生活博物館にて交流

山内春のふれあいコンサート主催し、成果を発表 2009~ 毎年開催(約300人程度の一般市民の参加)

私達にできるエコ宣言を考え実行 日韓交流“水のかけ橋 JAPAN”と水環境についての共同学習



山内エコクラブ事務局 〒528-0208 滋賀県甲賀市土山町黒川 2063

竜王真紀

URL:<http://www3.to/yamaeco> 電話 090-7966-2262

メール ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp